[DW] テーブルの重複レコードの削除

OpenGIS 2023.6.14

Shape ファイルを RVC にインポート後、テーブルデータを整理する手順です。

Shape ファイルは基本的に要素(ポイント・ライン・ポリゴン)と 1 対 1 のテーブルレコードを持ちます。

要素の数だけレコードがある状態を整理して同じ内容のレコードをまとめます。

(サンプルデータは「国土数値情報 用途地域データ」を使用しています)

1. Shape ファイルのインポート

メイン>入力(インポート)>入力ファイルの選択

> shp ファイルを選択>[次…]>[入力(インポート)]

🖔 Datum Workstation 06 Jun 2023			×	
_ メイン 画像 Web GIS 各種図形 地形	データベース フ	マリプト ツール へ	・ルプ	
* 表示				
編集	🖐 インポート(入力)			– 🗆 X
ンオリファレンス(座標刊寺) 機能―暫	<u>入力するファイル_</u>			
入力(インポート)	ファイルの選択	データソースの選択 消去	: すべて消去	
ゴンジョン ゴン	D:\moromoro\202306_	国土数値情報_DL\polygon\sha	apefile\A29-19_13000.shp	
終了				
	』 ┌─入力形式─────			
	フィルタ 米 🖬 📓	▋● ☶ 拡張子		
	名前 拡張	子 説明情報ウィンドウ	,	
	ARC-SHAPEFILE shp	ArcView シェイブフ	/ァイル形式	
K Import from ARC-SHAPEFILE	– 🗆 🗙			
オブジェクトタイプ ベクタ 🖃				
▼ テーブルへのリンク				
位相(トポロジ)レベル: ポリゴナル(NIMAレベル3) Ⅰ				終了ヘルプ
▲ 抽画述及を早くするにのい~クク東週化 ■ 要素IDテーブルの生成				
▼ 標準属性テーブルの生成				
▶ ラベル情報フィールド―				
■ ラベル要素の作成				
□□==>>) □== そもフトエンコーギィング □★語(Sbift=IIS)	T			
 □ 既存の座標参照系を上書きする 				
参照系 自動				
┌─抜き出し				
_ <u>座標</u> ↓ 未定義				
東西坐標 から 古北応煙 から				
抜き出し 完全に内側				
入力(インポート) ジョブキュー ジョブの	保存 キャンセル			

Shape ファイルをインポートした RVC を表示したところです。



2. テーブルの修正

既存のテーブルを参照してみます。



₩ A29-19_1	13000 ¥ ポリゴン ¥	A29-19_1	3000		—		×
テーブル	編集 レコー	-ド フ・	ィール	۴			
_ ¥ 1 _k +	h = h ¹ h 🐪 🙀	ta 🙀 📰	® ₫				
A29_001	A29_002	A29_003	A29_	A29_005	129_006	A29_007	A2(
13000	東京都		8	近 隣商業 地域	80	300	
13000	東京都		1	第一種低層住居専用地域	30	50	
13000	東京都		1	第一種低層住居専用地域	30	60	
13000	東京都		1	第一種低層住居専用地域	30	60	
13000	東京都		1	第一種低層住居専用地域	40	80	
13000	東京都		1	第一種低層住居専用地域	40	80	
13000	東京都		4	第二種中高層住居専用地域	50	100	
13000	東京都		3	第一種中高層住居専用地域	30	100	
13000	東京都		3	第一種中高層住居専用地域	60	200	
13000	東京都		3	第一種中高層住居専用地域	30	100	
13000	東京都		3	第一種中高層住居専用地域	50	100	
13000	東京都		4	第二種中高層住居専用地域	50	100	
13000	東京都		3	第一種中高層住居専用地域	50	100	
13000	東京都		1	第一種低層住居専用地域	30	50	
13000	東京都		1	第一種低層住居専用地域	30	50	
13000	東京都		3	~ 通口 二 日 二 日 二 日 二 日 二 日 二 日 二 日 二 日 二 日 二	30	100	
N		×+ - ×	A	حد			/
0717 / 10	717 レコード	が表示ざ	れてい	うます。			

フィールド A29_005 だけのテーブルを作ってみます。

マネージャのポリゴンを選択した状態で右クリックメニューの[リレーションの修正]を選択



元のテーブルのバックアップをします。

データベースエディタ画面でテーブルを選択し、右クリックメニューより[テーブルのコピー]>OK



必要があれば名前を変更します。

💘 オブジェクト名と説明を	編集		—		×
名前	A29-19_13000 (2)				
説明情報ウィンドウ	Arc/View ShapeFile .dbf から				
		0	к	キャン	ノセル

テーブルがコピーされました。

🆎 データベースエディタ : A29-19_13000 / ポリゴンデータベース	-	×
ファイル		ヘルプ
₩ <u>₹</u>		
▲ Internal ▲ Internal ▲ A29-19_13000 (2)		A N
4		12

新しいテーブルの「プロパティ」を開きます。

戦 データベースエディタ : A29-19_13000 / ポリゴンデ-	タベース			×
ファイル			~	・ルプ
<u>*</u> 2				
A29-19_13000	1			
A29-19_13000 (2)	開く			
	▲ テーブルの左寄せ			
	テーブルのコピー.	••		
	名前の修正			_
	プロパティ			
	アクセスコントロー	-ルリス	トの編集	耒
2	テーブルを削除			

不要なフィールドを削除します。

アタッチメントは「任意の要素に対して任意のレコード」もしくは「1要素に対して複数レコード」にします。

削除するフィールドを選択し、[×]をクリック、A29_005 だけ残ったら、[OK]

₩ A29-19_13000 (2) -	ร-วีมวือ//รา — C	• ×
_テーブル		
名前	A29-19_13000 (2)	□ 非表示
説明情報ウィンド・	ˈArc/View ShapeFile .dbf から	
アタッチメント	「任意の要素に対して任意のレコード ▼ テキストエンコーディング:日本語(Shift-JIS) ▼	
_ 7		
	↓~	5 1 2 2 19 1
A29 001 Fiz	<u>*を前所 </u>	/1///
A29_002 日z	本語(Shift-JIS) テキスト 10 いいえ	
A29_003 ⊟7	本語(Shift-JIS) テキスト 20 いいえ	
H29_004 929 H29_005 日7	数 32-101 4 いいえ 0 木塔(Shift-ITS) テキスト 30 いいえ	
A29_006 整装	数 32-bit 4 いいえ 0	
A29_007 整数	数 32-bit 4 いいえ 0	
A29_008 Hz	本語(Shift-JIS) テキスト 254 いいえ	
リレート先 なし	▲ 値一覧の設定 次のキー: なし ▲	
入力スタイル	✓ 無効な値の際の動作:	
	OK キャンセル	ヘルプ
A29-19_13000 (2) -	テーブルプロパティ – [- x
♥★ A29-19_13000 (2) - ┌─テーブル──	ร-วัมวือ/(รา — C	
♥ A29-19_13000 (2) - - テーブル 名前	ร-วีมวื่อ/(รีา - [A28-18_13000 (2) (2)	□ ×
♥ A29-19_13000 (2) - ーテーブル 名前 説明情報ウィンドヾ	ງ − 11/ 7⊡//ティ − [A29-19_13000 (2) γ Arc/View ShapeFile .dbf ກໍ¢	□ × □ 非表示
 ペ A29-19_13000 (2) - デーブル 名前 説明情報ウィンドで アタッチメント 	テーブルプロ/(ティ – □ A29-13_13000 (2)	□ × □ 非表示
 ペ A29-19_13000 (2) - ーテーブル 名前 説明情報ウィンド・ アタッチメント 	テーブルプロパティ – C A29-19_13000 (2)	□ ×
 ペ A29-19_13000 (2) - ・テーブル 名前 説明情報ウィンド・ アタッチメント ・フィールド 	 テーブルプロパティ – 「 A29-18_13000 (2) オ Arc/View ShapeFile .dbf から 任意の要素に対して任意のレコード ▼ テキストエンコーディング:日本語(Shift-JIS) ▼ ドラー かげでソン ドラー かげでソン 	□ ×
 ペ A29-19_13000 (2) - テーブル 名前 説明情報ウィンド アタッチメント フィールド ・を 口 × 値 5 値 	 テーブルプロパティ – □ A28-18_13000 (2) オートレージョン オートレージ オートレージ オートレージ <li< td=""><td>□ ×</td></li<>	□ ×
 ※ A29-19_13000 (2) - -テーブル 名前 説明情報ウィンド アタッチメント フィールド +を □ ノールド タ -ワイールド タ 	テーブルプロパティ ー □ A29-18_13000 (2) ウ Arc/View ShapeFile .dbf から ① 一 ① ① Arc/View ShapeFile .dbf から □ ① 一 ① ① テキストエンコーディング: 日本語(Shift-JIS) □ ○ 1 ● □ 1 要素に対して1 □ □ 1 要素に対して1 □ □ 1 1 ● □	□ × 」非表示 [→] ィンド ^Δ
 ※ A29-19_13000 (2) - -テーブル 名前 説明情報ウィンド アタッチメント フィールド +を □ × 禮 5 [フィールド ター R29_005 日オ 	テーブルプロ/(ティ ー □ A28-18_13000 (2) ウ Arc/View ShapeFile .dbf から ① イログの要素に対して任意のレコード 「 ① アキストエンコーディング: 日本語(Shift-JIS) 」 ○ パーでの指定のレコード 「 1 要素に対して任意のレコード 」 1 要素に対して有数レコード 」 1 要素に対してイレコードまたはなし 」下の桁数 表示用単位 空白を許さない 初期値 最小 最大 使用法 説明情報ウ 本語(Shift-JIS) シャンえ	□ × □ 非表示 >ィンド ^Δ
 ※ A29-19_13000 (2) - -テーブル 名前 説明情報ウィンドで アタッチメント フィールド +を □ × 禮 5 [フィールド ター A29_005 日2 	F-ブルプロ/(ディ - C A28-18_13000 (2) - - C ウ Arc/View ShapeFile .dbf から - - C 任意の要素に対して任意のレコード ・ デキストエンコーディング: 日本語(Shift-JIS) ・ 1 ア素に対して任意のレコード ・ 1 要素に対して後数レコード ・ 1 要素に対して後数レコード ・ 1 要素に対してしコード ・ 1 要素に対してしコード ・ 1 シンシえ シンシえ	 ユ 非表示 ウィンドム
 ※ A29-19_13000 (2) - テーブル 名前 説明情報ウィンドで アタッチメント フィールド +を □ × 福 5 [] フィールド ター A29_005 	F-ブルプロ/(ディ - C A28-18_13000 (2) - - C ウ Arc/View ShapeFile .dbf から - - C 任意の要素に対して任意のレコード 「 デキストエンコーディング: 日本語(Shift-JIS) 「 1 T - - 1 要素に対して後数レコード - - 1 要素に対して後数レコード - - 1 要素に対して後数レコード - - 1 要素に対してもいコード - - 1 要素に対してもいコード - - 1 要素に対してしコード - - 1 - - - 1 - - - 1 - - - 1 - - - 1 - - - 1 - - - 1 - - - 1 - - - 1 - - - 1 - - - 1 - - - 1 - - - 1 - - - 1 - - - 1 <	□ × □ 非表示 フィンド ^Δ
 ※ A29-19_13000 (2) - テーブル 名前 説明情報ウィンド アタッチメント フィールド +を □ × 4 4 1 1 □ フィールド タ- A28_005 日オ 	テーブルプロパティ - C F23-18_13000 (2) - - C ケ Arc/View ShapeFile .dbf から - - C 任意の要素に対して任意のレコード 「 デキストエンコーディング: 日本語(Shift-JIS) 」 1 要素に対して往意のレコード 1 - - 1 要素に対して往意のレコード - - - 1 要素に対して後数レコード - - - 1 要素に対して1レコードさたはなし - - - 1 要素に対して1レコードさたはなし - - - Ario Shift-JIS) ジキスト 30 いいえ	□ × 」非表示 フィンドユ
 ※ A29-19_13000 (2) - テーブル 名前 説明情報ウィンド アタッチメント フィールド +を □ × 4 4 1 1 [フィールド]タ- A23_005 日オ 	テーブルプロパティ ー □ F23-13_13000 (2) ケ Arc/View ShapeFile .dbf から 任意の要素に対して任意のレコード 「 チャンドラント デキストエンコーディング: 日本語(Shift-JIS) 「 1 要素に対して往意のレコード 「 1 要素に対して往意のレコード 」下の桁数 表示用単位 空白を許さない 初期値 最小 最大 使用法 説明情報ウ Ari(Shift-JIS) ジャンシン	ユ 非表示 ユ 非表示
 ※ A29-19_13000 (2) - テーブル 名前 説明情報ウィンド アタッチメント フィールド ・を □ × 4 5 15 フィールド タ- A23_005 	テーブルプロパティ - 「 F23-13_13000 (2) (2) ケ Arc/View ShapeFile .dbf から (1) 任意の要素に対して任意のレコード 「 チャンドラント (2) 「 (1) 丁 要素に対して1とコード (1) 11 要素に対して1レコードまたはなし シャンシント 30	ユ 非表示
 ※ A29-19_13000 (2) - テーブル 名前 説明情報ウィンド アタッチメント フィールド ・を □ × 4 5 12 「フィールド」ター A23_005 	テーブルプロパティ - C F23-13_13000 (2) (2) ケークレビジン テキストエンコーディング: 日本語(Shift-JIS) 任意の要素に対して任意のレコード ・ 「日夏素に対して任意のレコード ・ 1 要素に対して複数レコード ・ 1 要素に対して複数レコード ・ 1 要素に対して1レコードまたはなし ・ 小下の桁数 表示用単位 空白を許さない 初期値 最小 最大 使用法 説明情報ウ 本論(Shift-JIS) ・	ユ 非表示
 ※ A29-19_13000 (2) - テーブル 名前 説明情報ウィンド* アタッチメント フィールド ・を□ ※ 4 4 12 「フィールド」ター A23_005 日2 	7-7ルプロパティ 7-7ルプロパティ 623-13_13000 (2) ↑ Arc/View ShapeFile .dbf から 任意の要素に対して任意のレコード ↑ Arc/View ShapeFile .dbf から	 ユ非表示 ユアインドローク
 ※ A29-19_13000 (2) - テーブル 名前 説明情報ウィンド* アタッチメント フィールド ・を□ × 44 【フィールド ター A23_005 日2 リレート先 なし 	テーブルプロパティ ー □ F23-13_13000 (2) ケークレンジャー ケークレンジャー 日気の要素に対して任意のレコード ・ ・ 日要素に対して仕意のレコード ・ ・ 1 要素に対して後数レコード ・ ・ 1 要素に対して後数レコード ・ ・ 1 要素に対してもなしコード ・ ・ 1 要素に対してもなしコード ・ ・ 1 要素に対してもなしコード ・ ・ 1 要素に対してもなしコード ・ ・ 1 要素に対してもないコード ・ ・ 1 ● ・ ・ 1 ● ・ ・ 1 ● ・ ・ 1 ● ・ ・	 メ オ非表示 フィンドへ マンドへ
 ※ A29-19_13000 (2) - テーブル 名前 説明情報ウィンド・ アタッチメント フィールド ・をご> 45 「フィールド」ター A23_005 日2 リレート先 なし 入力スタイル 	 テーブルゴル(ティーロー) F23-19_13000 (2) Phrc/View ShapeFile .dbf から 任意の要素に対して任意のレコード 「」 テキストエンコーディング: 日本語(Shift-JIS) 「」 ドラールドビント 日要素に対して推氮のレコード 1 要素に対して推氮のレコード 1 要素に対して推氮のレコード 1 要素に対して推氮のレコード 1 要素に対して推氮のレコード 1 要素に対して指数のレコード 1 要素に対して指数のレコード 1 要素に対して指数のレコード 1 要素に対して指数のレコード 1 要素に対してもなし メ下の桁数 表示用単位 空白を許さない 初期値 最小 最大 使用法 説明情報や ************************************	 メ オ非表示 フィンドへ フィンドへ

```
テーブルはこのようになりました。
```

K A29-19_13000 (2) ¥ ポリゴン ¥ A29-19_13000		
テーブル 編集 レコード フィールド		
🗆 😿 ½ + k - k ½ 🐄 🐝 🗱 🗐 🎯 💕 🔳		
A29_005		
近隣商業地域		
第一種低層住居専用地域		
第一種中高層住居専用地域		
第一種中高層住居専用地域		
第一種低層住居専用地域		
第一種低層住居専用地域		
第一種中高層住居専用地域		
第一種低層住居専用地域		
第一種低層住居専用地域		
第一種中高層住居専用地域		
第二種中高層住居専用地域		
第一種低層住居専用地域		
第一種低層住居専用地域		
準工業地域		
第一種低層住居専用地域		
近隣商業地域	 	_
10717 / 10717 レコードが表示されています		

レコードがポリゴンの数だけあるので種類ごとにまとめます。

テーブルの右クリックメニューから[重複しているレコードを削除]

🎇 データベースエディタ : A29-19_13000 / ポリゴンデータベース – 🗆	×
ファイル	ヘルプ
₩ <u>≥</u> ₽	
 ▲ A29-19_13000 ▲ A29-19_13000 (2) ■ A29-19_1300 (2) ■ A29-19_	
▶ 質問 - □	×
このテーブルから複製レコードを消去してよろしいで はい い	すか? いえ

[はい]

同じ属性値のレコードがまとまりました。



3. 属性値によるポリゴンの色分け

このテーブルの複数レコードがアタッチされている要素はないか確認します。



1つ見つかったので、確認して不要なアタッチを外します。



💺 A29-19_13000 (2) ¥ ポリゴン ¥ A29-19	9_13000 — 🗆 X	♥ A29-19_13000 (2) ¥ ポリゴン ¥ A29-19_13000	-	×
テーブル 編集 レコード フ-	ィールド	テーブル 編集 レコード フィールド		
🗆 🖌 ¹k ⁺k ⁻k ⁵k 🐄 🚧 🔛	😵 🖻 💶	🗆 🖌 ¹ҡ ⁺ҡ ⁻ҡ‱ 🍬 搏 🙀 🔚 🗞 🗃 🖪		
A29_005		A29_005		
第一種中高層住居専用地域		第一種中高層住居専用地域		
第一種低層住居専用地域	会研オ 21 つこ じた 速切す 2	第一種低層住居専用地域		
第二種住居地域				
第二種中高層住居専用地域	- 业び答え(小さい順)	第二種中高層住居専用地域		
第二種低層住居専用地域	- 亚び省え(大さい順)	第二種低層住居専用地域		
商業地域	- ノイールトオノンヨン・・・	商業地域		
近隣商業地域	- スクリノトの編集	近隣商業地域		
第一種住居地域	- 計算ノイビルトを回定化	第一種住居地域		
準工業地域	要素の選択	準工業地域		
工業地域	- 要素の選択群隊	工業地域		
準住居地域	「トグル要素(エレメント)」。	準住居地域		
工業専用地域	- アクティブ要素(単独選択)にアタッチ	工業専用地域		
	- マークした要素(複数選択)にアタッチ			
	- アリディノ要素からアダッチを外す			
	選択された要素がらアダッチを外す			
				4
12 / 12 レコードが表示されてい	ます。 - 2 が選択要素に	12 / 12 レコードが表示されています。 - 1 が選択要	素は	

ポリゴンに色を付けてみます。レイヤを選択し[コンロトール]



ポリゴンタブで「新規 - 属性による」

אר באלעד אלא איז איז איז איז איז איז איז איז איז אי
オブジェクト ポイント ライン ポリゴン ノード ラベル 3次元
表示 すべて
「データティップ―――」 「アータティップ――」 スクリプトを使用
表示 なし ■ ■ ハイライト 新規 - 属性による
可視スケール範囲: 無制限 から 無制限
┌─ダイナミックラベル─────
テキスト なし 指定
テキストスタイル フレームのスタイル 可視スケール範囲: 無制限 から 無制限
位置 内側に入れば表示、入らなければ表示しない
ラベルフィールド
サンプルラベル
Sort Field
ポリゴンの塗りつぶし 2Dだけを有効にする <mark>▼</mark> ⊐ ハイライト時に塗りつぶさない

テーブルとフィールドを選択して[OK]

	💘 新規スタイル割り当てテーブル – 🗆 🗙
	スタイル付けするテーブルとフィールドを選んでください
	テーブル ▲ フィールト ▲
	A29-19_13000 (2) A29_005
	Internal
((英語/ファインションドインションを選びしてくたさい
N	*************************************
	ラスダイル刮り目(デーノルをユビーし(理の込んでくたさい
	□ 共有場所にリンク(メインレベルのスタイルオアジェクトのみ)
	→ 名前でスタイルを自動割付
	OK キャンセル

マニュアルタブで[新規スタイル]をクリック

猆 A29-19_13000 (2).A29_005 に対するスタイル割り当てテーブル 新規作成	- 🗆 ×
🕒 🖻 📴 🧑 ユタイルオブジェクト [テーブルと一緒に埋め込まれ	1たスタイル]
自動 マニュアル	スタイル割り当てテーブル
<u>→</u> オイル	A29-19_13000 (2).A29_005ス
▼ スタイル名 ▲ ■	▶ 商業地域 < 3-4
マデフォルトスタイル>	
新規スタイル	
	◎ 準住居地域 (3)
	▶ 第一種中高層住居専用地域(>)
└─塗りつぶしスタイル──	
🖉 🗖 🎆 📑 🖉 🖏 📉 🔄 サンプル パターン名	
透明度(0-100) 0	
┌─境界線スタイル	
■ ■ ■ ■ ■ ■	
幅 0.00 mm _	
スケール: 固定	
	 OKキャンセル ヘルプ

塗りつぶしと境界線のスタイルを選択し、右の「スタイル割り当てテーブル」の割り当てたいレコー ドの左の△△マークをクリックすると割り当てられます。(例ではポリゴン境界線はオフ) この操作を後のレコードにも行います。



カラーの割り当てが終了したら[OK]

💘 テーブルの新規作成	-		×
名前 スタイル_A29-19_13000 (2)_A29_005			
説明情報ウィンドウ 'A29-19_13000 (2).A29_005' に適用され;	たスタイル		
	OK	++>	ノセル

[OK] [適用]>[OK]

♥ ベクタレイヤコントロール				×
オブジェクト ポイント ライン ポリゴン ノード ラベル 3次元	t			
表示 すべて	9_13000 (2	2)_A29_00	5 ॼ 編集	ŧ×
「データティップ				
表示なし		•	🗖 🗖 ハイ	ライト 🛛
前付け文字: 後付文字:				
可視スケール範囲: 無制限から 無制限				
ダイナミックラベル				
テキストなし 指定				
テキストスタイル フレームのスタイル 可視スケール範囲:	無制限	まから	無制	服
位置 内側に入れば表示、入らなければ表示しない 👤				
凡例				
ラベルフィールド				
サンプルラベル				
Sort Field				
ポリゴンの塗りつぶし20だけを有効にする ▼ コ ハイライト時に塗りつ	いぶさない			
			ster en	
	OK	閉じる	適用	ヘルプ

ポリゴンに色が付きました。



テーブルレコードの左の口にチェックを入れて、[排他的選択]をクリックすると、その属性を持つポ リゴンが選択されハイライトします。



ハイライト色の変更は、表示ウィンドウの[オプション]>[カラー]から行います。



「選択要素」の色を選び、[OK]

